

トークテーマ3

新しいひとの流れづくり・安全で安心して生活できるまちづくり

町全体をバリアフリーに 【先崎智美さん】

ある方も小野町のイベントに来たときにおっしゃってましたが、道が狭く危険だなと思う箇所が何カ所もあり、歩道や安全に通行できる道路が必要だと思いません。高齢者がこれから多くなっていくということで、道もそうですが、小野町全体でバリアフリーに取り組みやすい町になるのではないかと思います。

独身者向けの住宅整備を 【菅原守さん】

住宅、特に独身者向け住宅。仕事とセットでこれがないと若者は増えないのかなと思います。またWiFi環境などの通信サービスの拡充は、2020年のオリンピックに向けて、全国で進んでいますので、この方面の発展充実が必要だと思います。



菅原守さん

元気高齢者の活躍の場を 【吉田弥生さん】

高齢になったとき動ける人が働ける場所があればいい

いなと思います。シルバークリスタールセンターとかがあると思いますが、このほか例えば、放課後子ども教室についていられるような、おじいちゃん・おばあちゃんがいてもいいのではないかなと思います。また街灯が少ないので、子どもたちが歩くというか、下校するときには安心して歩けないと感じていました。先日地震がありました。先日も、実際に避難するようになったときには、どこに逃げていいのか、標示などがないのでどのように動いたらいいのか分からないのではないかと思います。

緊急医療体制の整備を 【橋本由美子さん】

車がなくても生活できる、歩いて行ける場所に必要なものがあると便利だと思います。お年寄りの方は困っていると思います。また子どもを連れて散歩しようとしたとき、怖いなと思

う道しかない。公園があったとしても道中のことを考えるとちょっと行けないなというところですか。あと、医療体制ですが救急外来があると安心だと思います。



橋本由美子さん

このほか、郡司和洋さんからは「町に目玉となる施設を設けて素通りされないまちづくりをしてはどうか」、吉田裕さんからは「SNSなど新しい通信手段の活用や高齢者など交通弱者の支援について」、飯岡崇さんからは「公共施設や商業施設などの複合化や1カ所への集約について」お話をいただきました。

【小野町長 大和田昭】

長時間にわたり「小野町を住みやすい町にするにはどうしたら良いか」などについてお話をいただきました。

町は本日お話をいただいた皆さんの声はもちろん、普段から町民の皆さんの声に耳を傾け「住んでいる人が幸せを感じられるまち」「町の外に出た若者が戻りたくなるような温かいふるさと」づくり、皆さんの「夢」の実現に向け努めてまいります。

本日は誠にありがとうございました。



町長